

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-187253(P2005-187253A)

【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-429551(P2003-429551)

【国際特許分類】

C 0 1 B 31/08 (2006.01)

B 0 1 J 20/20 (2006.01)

C 0 2 F 1/66 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 31/08 Z

B 0 1 J 20/20 D

C 0 2 F 1/66 5 1 0 K

C 0 2 F 1/66 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月27日(2006.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

活性炭のスラリー輸送実験

攪拌槽に実施例1で得られた製造6時間後の活性炭(活性炭No. 1)、製造後3ヶ月室温で蓋をしたまま保管したもの(活性炭No. 1)、及び比較例1の通常の活性炭をポリエチレン瓶に入れ、蓋をして常温で3ヶ月保管したもの(活性炭No. 6)および活性炭No. 2～No. 5それぞれ1kgに対して水道水10Lの割合で加えてスラリーとした。この活性炭スラリーをかくはんしながら、1L/分の割合でポンプを用いて内径15mmのシリコンチューブを経由して10m先に輸送し、目開き2.0mmの金網を用いて活性炭と排水を分離した。排水を経時的に採取し、そのpH値を測定した。結果を表1に示した。実験に用いた水道水のpH値は7.5であった。